

平成 30 年度 事業報告

社会福祉法人富士旭出学園

改正社会福祉法のもとで、既に2年の歳月が過ぎ去りましたが、その間、社会福祉法の示唆する方向性を見極めながら、本法人の現状と実態を踏まえた改善に向けた努力を続けてまいりました。一方で、利用者の高齢化による医療対象者の増加、障害の重度化によるニーズの多様化、さらに利用者の家族の状況の変化が顕著になっていることから、平素より、利用者個人々の生活の質について意識の高い支援が求められていることを痛感いたしました。

他方では、マンパワーの確保、養成、定着にも種々困難が伴う時代で、法人内の人材マネジメントの重要性を再認識し、継続的に取組んだ1年でありました。

本法人として、平成30年度に取組んだ「法人運営」「事業活動」などの概要は次のとおりです。

<法人運営>

1. 理事会開催状況

(1) 平成30年6月11日(月) 第1回

- ① 平成29年度事業報告及び附属明細書(案)の承認
 - ② 平成29年度計算書類及び附属明細書、財産目録(案)の承認
 - ③ 社会福祉充実計画の終了と新たな計画(案)の承認
 - ④ 定時評議員会の招集について
- 報告事項 理事長職務の執行状況報告
理事長専決事項

(2) 平成30年11月9日(金) 第2回

- ① 平成30年度第一次補正予算(案)の承認
 - ② 運営規程の変更(案)の承認
- 報告事項 理事長職務の執行状況報告
理事長専決事項

(3) 平成31年3月25日(月) 第3回

- ① 平成30年度第二次補正予算(案)の承認
 - ② 平成31年度事業計画(案)の承認
 - ③ 平成31年度当初予算(案)の承認
 - ④ 諸規程の変更(案)の承認
 - ⑤ 苦情解決第三者委員の選考及び虐待防止委員会の設置について
- 報告事項 建物登記について
土砂災害について

理事長職務の執行状況報告

理事長専決事項

2. 評議員会開催状況

(1) 平成30年6月26日(火) 定時評議員会

報告事項 平成29年度事業報告及び附属明細書

- ① 平成29年度計算書類及び財産目録(案)の承認
- ② 社会福祉充実計画の終了と新たな計画(案)の承認

3. 登記事項

平成30年6月27日	資産の総額登記
平成30年12月13日	倉庫(富士明成園)・屋外トイレ(富士清心園)附属建物

4. 届出事項

平成30年5月11日	障害者雇用納付金申告書	(独)高年齢・障害・求職者支援機構
平成30年5月29日	収益事業開始届出書 申告期限の延長の特例申請書 青色申告の承認申請書	富士税務署(静岡県沼津財務事務所)
平成31年3月29日	時間外労働休日労働に関する協定届	富士労働基準監督署

5. 指導監査等の状況

障害福祉サービス事業者等の実地指導 なし

6. 監事監査の実施状況等

平成30年4月20日	監事監査研修会 (静岡市グランシップ)
平成30年5月24日	決算監査 平成29年度の理事の業務の執行及び財産の状況について監査報告
平成30年11月9日	定期監査(期中監査)
平成31年3月25日	定期監査(期末監査)

<事業活動>

1. 利用者へのサービスの質の向上に向けた取組み

- (1) 安全で快適な生活環境を提供するために、各施設のインシデント・アクシデント基準表を一元化し、インシデントレポートによる職員の意識の目を養う取組みを行った。
→ 事故の発生が増加傾向にあり、継続的に原因分析と改善策を講じていく
- (2) 衛生面、防臭面に配慮し、生活の場にふさわしい快適な環境の実現を目指し実践した。
- (3) 利用者給食費の負担額を据置きとし、食材料費は増額した食事内容の充実を平成 29 年度より継続的に実施した。
- (4) 地域に向けて、支援の状況や新着情報について、ホームページを活用し積極的な公表を行った。

2. 人材育成と定着に向けた取組み

- (1) 最低賃金の引き上げに伴う新卒者の初任給を改善した。
- (2) 雇用アドバイザーを活用した処遇改善に向けた取組みを行った。
 - ① 働き方改革に向けた就業規則の整備
 - ② 職員の職位職責に応じた賃金体系の整備
- (3) 働きやすい職場づくりを推進した。
 - ① 衛生委員会を中心とした活動
 - ・ 健康宣言事業所として職員の健康管理と健康づくりの増進
 - ・ ハラスメント防止に向けた取組み
 - ・ ストレスチェックによるメンタルヘルス不調の未然防止
 - ・ 新任職員を中心にした施設内研修の実施
 - ・ 労働災害防止に向けた周知活動
 - ② 福利厚生の実施
 - ・ ソウエルクラブ加入
 - ・ リフレッシュ休暇制度（4名利用）
 - ・ 季節に応じた被服貸与
 - ・ 職員業務災害保険加入（メンタルケアカウンセリングサービス付帯）
 - ・ じゃらんコーポレートサービスの導入

3. 一般事業主行動計画に伴う取組み

- (1) 次世代育成支援対策としての取組みを行った。
子ども参観日を実施し、職場見学や体験を通して親子のコミュニケーションを図った
→ 子ども参加者 39 名
- (2) 全職員の年次有給休暇取得率 1 人平均 50%を目指した。
→ 1 人平均 54%
- (3) 男性職員の子育てを応援し、子どもの行事に参加しやすいように勤務調整を行った。
→ 女性職員育児休暇 2 名

4. 施設の防災意識の高揚

- (1) 静岡県総合防災訓練実施施設として「富士厚生園」が視察施設となり、地震発生および火災発生を想定した全利用者、全職員による防災訓練を実施した。
→ 静岡県東部施設職員 38 名、静岡県・富士宮市・富士市職員 8 名計 46 名出席
- (2) 近年多くなった土砂災害について、富士砂防事務所にて土砂災害出前講座を依頼し、法人周辺の災害リスクを把握する研修を行った。
- (3) 法人の立地を考えて、利用者、職員 7 日分の防災備品、備蓄食品を継続的に管理し備えた。

5. 地域における公益的な活動

- (1) 平成 30 年度富士旭出ふれあい祭りを小雨の中開催した。
 - ・ 平成 30 年 10 月 27 日（土）約 1,000 名の方が来園
 - ・ 障害者ダンスクラブ「フラミンゴ」のジャズダンスと交流
 - ・ 地域の保育園、幼稚園、小学校の子どもたちを招待、シャトルバスの運行
- (2) 静岡保護観察所との連携により保護観察対象者の社会貢献活動の受入れを行った。
- (3) 地域の防災拠点として、防災備品、備蓄食品の確保を行った。
富士厚生園 10 食×7 日 富士清心園 10 食×7 日 富士明成園 10 食×7 日
サポートセンター 5 食×7 日 サニーヒル 5 食×7 日
→ 今後増やしていく予定
- (4) 静岡 DCAT 登録員養成研修に参加した。
→ 登録員 2 名在籍
- (5) 実習生、介護体験、ボランティアの受入れを積極的に行った。
- (6) 施設資源を近隣施設、団体の実施する行事等に利用いただいた。

6. 資産の保全と社会福祉充実計画

資金管理としては、金融機関を分散し、それぞれの金融機関の利点を踏まえた取引をしている中で、流動的な預金（スルガ銀行）は保護のため無利息の決済預金に変更した。また、将来に備え、借入状況や返済計画に応じて積立資産を見直し積立金を増額した。固定資産については、固定資産会議を行い、各拠点区分の固定資産の使用状況を確認、調査し資産の保全に努めた。

社会福祉充実計画については、令和 4 年度富士清心園・本部事務所の改築に活用する予定であるため、今年度の活用実績はなかった。

7. 苦情解決委員会・第三者委員会

平成 30 年 7 月 26 日	第 1 回苦情解決委員会
平成 30 年 9 月 27 日	第 2 回苦情解決委員会・第 1 回第三者委員会
平成 30 年 12 月 13 日	第 3 回苦情解決委員会

平成 31 年 3 月 14 日	第 4 回苦情解決委員会・第 2 回第三者委員会
------------------	--------------------------

苦情・相談受付内容

苦情受付日	申出人	内容	対応
平成 30 年 7 月 15 日	家族	居室窓側手すりのツバメの糞について	定期的な清掃と汚れや清掃への職員間で積極的に対応していく
平成 30 年 8 月 20 日	外部匿名	マイクロバスドライバーの運転マナーについて	安全運転講習に加え、交通ルールの遵守、運転マナーで安心・安全の注意喚起と職員への呼びかけをしていく
平成 30 年 10 月 31 日	家族	ふれあい祭りの販売菓子の賞味期限切れについて (苦情ではないとの申出)	販売者が特定できたため確認すると、期限の誤記載によるものであり、購入者を探していたことが判明した

受付けた苦情はすべて解決し、今年度より苦情・相談内容については、法人ホームページに公表した。

8. リスクマネジメント委員会

平成 30 年 6 月 7 日	・リスクレベル基準表について
平成 30 年 8 月 2 日	・各事業所からの事故報告 ・インシデントレポートについて
平成 30 年 11 月 28 日	・各事業所からの事故報告 ・インシデントレポートについて ・初級リスクマネージャー養成講座報告他
平成 31 年 2 月 21 日	・各事業所からの事故報告他 ・2019 年度委員会計画について

事故報告内容

内 容	富士厚生園	富士清心園	富士明成園	サポートセンター
怪我（原因不明の受傷含む）	13	3	17	0
所在確認（施設内・施設外）	1	0	0	0
転倒・転落	28	9	19	0
興奮時の怪我	1	2	0	0
他害	9	8	7	1
破損	5	1	1	0
異食	0	0	0	0
誤薬・服薬ミス・服薬忘れ	3	3	12	0
所持品等の確認ミス	4	1	0	0
その他（職員の不注意等含む）	1	0	5	0
合計	65	27	61	1
職員車輛関係（自損・物損等軽微なもの）	2	1	5	1

9. 年間行事

	行 事 内 容	
4.9	新任職員研修	新任職員 10 名参加
4.16	辞令交付式 職員全体会議	新任職員採用辞令・異動辞令他 全職員対象に理事長より法人の歴史・理念等について
4.21	旭出グループ新任職員研修会	学校法人旭出学園（東京都練馬区） 13 名参加
5.11	救命救急講習会	富士明成園多目的活動棟 新任職員を中心 AED 講習会
5.18	天理教富士支部 環境整備	富士旭出学園構内 草刈り・清掃などの奉仕活動 会員の方、約 100 名の参加者
5.26	創立 46 周年記念式典	創立を記念して毎年開催 関係者の方々への感謝のつどい 模擬店、アトラクションで交流
6.10	富士宮市福祉スポーツ大会	富士宮市体育館 法人代表 サポートセンターあさひで利用者 20 名、職員 5 名参加
6 月～ 7 月	安全運転講習会（3回）	富士明成園多目的活動棟 安全運転管理者による全職員対象の安全運転講習
7.11	腰痛予防講座（衛生委員会）	富士清心園食堂 新任職員中心 富士宮市健康増進課 川村 浩二氏
8.1～ 8.24	ストレスチェック期間	1 年に 1 回定期的に職員のストレス状況について職員本人が検査 項目に応じて検査を実施
8.8	第 1 回子ども参観日	富士旭出学園構内 職員の子どもたち 39 名参加 次世代育成を目指し、施設見学・職場体験・親子で昼食会
8.19	岳南九州人会 環境整備	富士旭出学園構内 美化ボランティア活動 会員の方 16 名参加
9.1	総合防災訓練	震度 6 以上の地震発生を想定 全利用者、全職員による防災訓練 新任職員中心に西富士開拓用水取水栓の確認
9.1	わかふじスポーツ大会	草薙運動競技場 静岡県障害者スポーツ大会 富士厚生園 2 名、富士清心園 2 名参加

9.10	東部地域成人施設スポーツ交流会	富士宮市体育館 東部知的障害者成人施設によるスポーツ交流会 法人各施設 利用者 64 名、職員 26 名参加
9.12	社会貢献活動	和顔荘周辺草刈り 保護観察対象者による奉仕活動 保護司、保護観察官、BBS 会員、更生保護女性会員
9.19	生活習慣病予防の食事について (衛生委員会)	多目的活動棟 富士宮市健康増進課 赤池好美氏 テーマ「何を食べるか」より「いつ食べるか」
9.28	おもいきり交流会	富士旭学園構内 テーマ「ハロウィン」 利用者、職員が仮装して歌、踊り、ゲーム、模擬店で交流
10.12	弘済学園研修	富士明成園会議室 総合福祉センター弘済学園 大永 篤氏 テーマ「強度行動障害の実践的対処法について」
10.27	富士旭出ふれあい祭り	富士旭学園構内 来園者 約 1,000 名 利用者、家族を始め大勢の市民の方との交流
11.1	社会福祉施設防災の日 防災訓練	静岡県総合防災訓練実施施設として「富士厚生園」の視察 県東部施設職員、静岡県、富士宮市、富士市職員 計 46 名出席 地震発生と火災発生を想定した全利用者、全職員による防災訓練
12.5	感染症研修会 (衛生委員会)	富士厚生園会議室 新任職員中心 静岡県介護福祉士会 秋山みゆき氏 テーマ「感染症の理解と予防」
12.13～ 12/17	愛護ギャラリー	グランシップ 静岡県知的障害者福祉協会 陶芸活動の作品やクラブ活動の絵画などを出展
1.9	介護技術出前講座	多目的活動棟 介護福祉士会 テーマ「食事の介助」
1.17	介護技術出前講座	富士厚生園会議室 介護福祉士会 テーマ 「接遇セミナー」
1.18～ 1.31	福祉作品展	富士宮市役所玄関ホール 法人内の事業所利用者による作品の展示
1.19	就労激励会	サポートセンターあさひで多目的室 就労した OB を招いての交流会
1.27	富士山本宮浅間大社 節分慰問	鬼に扮した青年会員による節分厄よけ祈祷施設慰問
2.8～2.9	旭出グループ中堅職員研修 当番施設	富士明成園多目的活動棟・休暇村富士 旭出グループ計 43 名参加 テーマ 「みんなで考え、取り組む、利用者に寄り添う施設の リスクマネジメント研修」

2.28	土砂災害出前講座	富士明成園多目的活動棟 富士砂防事務所 鈴木 聡 氏 テーマ「富士山の土砂災害について」
------	----------	---

10. 合同委員会・合同会議

名 称	開 催 日	構 成 員
園長会	月1回その他随時	理事長・施設長・事務長
運営協議会	月1回	理事長・施設長・事務長・課長
苦情解決委員会	年4回	苦情解決責任者 苦情受付担当者
苦情解決第三者委員会	年2回	第三者委員・苦情解決責任者 苦情受付担当者
衛生委員会	月1回	産業医・衛生管理者・衛生委員
リスクマネジメント委員会	年4回	運営協議会・主査・各部主任他
労務管理コンサルティング	月1回	社会保険労務士・事務長・施設長
予算会議	年2回	統括会計責任者・会計責任者 出納職員
固定資産会議	年2回	統括会計責任者・固定資産管理責任者 会計管理者・会計担当者
感染症対策委員会	富士厚生園 H31.1月 富士清心園 H30.12月 H31.1月～2月 富士明成園 H30.4月、H30.12月	運営協議会・衛生管理者・看護師 栄養士
創立記念祭実行委員会	4月～5月 随時	各部署の主任を中心に委員会を構成
子ども参観日実行委員会	6月～8月 随時	各部署の担当者により委員会を構成
思いっきり交流会実行委員会	7月～9月 随時	各部署の担当者により委員会を構成
ふれあい祭り実行委員会	4月～10月 9回	各部署の主任を中心に委員会を構成
ふじあさひで編集委員会	4月～5月 随時 7月1日発行	各部署により委員会を構成
身だしなみ委員会	随時	各部署主任等を中心に委員会を構成
グループホーム会議	年1回	管理者、サビ管、世話人

給食部全体会議	年2回	運営協議会・給食部職員 支援部主任・看護師
---------	-----	--------------------------

11. 職員の状況

施設	勤務形態	採用職員	退職職員	H31. 3. 31 在職職員	産休・育休 取得者	有給休暇 取得実績
富士厚生園	常勤	1	1	34 (相談 1)	1	51%
	非常勤	2	1	6	0	
富士清心園	常勤	1	2	25 (相談 1)	1	64%
	非常勤	0	0	1	0	
富士明成園	常勤	5	6	34 (相談 1)	1	50%
	非常勤	0	0	2	0	
サポートセンター あさひで	常勤	0	1	5	0	65%
	非常勤	1	0	1	0	
グループホーム サニーヒル	常勤	0	0	1	0	35%
	非常勤	1	0	5	0	
相談支援事業所 ふじあさひで	常勤	0	0	(兼務 3)	0	
	非常勤	0	0	0	0	
合 計	常勤	7	10	99	3	54%
	非常勤	4	1	15	0	

<第一種社会福祉事業>

障害者支援施設

(富士厚生園)

利用者一人ひとりのエンパワメントを高め、その人にあった暮らしを追究し、利用者の立場になって考え、適切な福祉サービスの実施に努めた。

1. 施設設備整備

- ・ 富士厚生園専用防災倉庫の設置
見積合わせを行い、富士厚生園北側（1階）に設置する

2. 施設入所支援

(1) 勤務体制

- ・ 早番 1名 7:00～16:00
- ・ 遅番 1名 12:00～21:00
- ・ 夜勤 3名 15:00～24:00（準夜勤） 0:00～9:00（深夜勤）

※ 平成30年度当初は、当直者1名と夜勤者2名の体制でスタートしたが、年度当初深夜に不慮の事故が発生する。再発防止も含め支援体制の見直しを行う。現場職員の要望もあり、夜勤者3名体制として対応した。

3. 生活介護

(1) 人員配置（2.0対1）

- ・ 利用者2.0名に対して支援員1名を配置

※ 通院件数も年々増加傾向にあり、また、夜勤者3名としたことにより、昼間の職員配置に苦慮した。

(2) 通所利用者

- ・ 行動障害が顕著な利用者が多く、15名（常時利用）の利用者に対して常時2名の職員配置としてきたが、把握するだけで活動を提供できないことにより、年度途中で3名の職員配置へ変更した。

4. 健康管理

(1) 看護師業務

- ・ 職員異動により、平成30年8月より看護師が2名配置となる

※ 看護師が2名となるが、生活支援員による通院付添いは継続する

(2) 感染症への対応

- ・ インフルエンザ予防接種を例年通り実施（11月）
 - ・ 職員には、出勤と退勤時に検温を実施（12月から4月末まで）体調管理に努めてもらい、体調不良の場合には速やかに医療機関に受診してもらった
 - ・ インフルエンザ流行期には、職員へ予防投与ができるよう希望者にはタミフル2錠配布
 - ・ 利用者とその家族にも協力依頼をして1月～3月末まで外泊等を控えてもらった
- ※ 今年度、利用者のインフルエンザ発症は、12月に1名、1月に3名となったが、何れも大規模感染することなく終息

5. 職員の意識改革

- (1) 利用者のアセスメントシートの再確認と重要性を再認識
- (2) 危機管理意識の高揚
- (3) 安全に対する配慮
(安全 → 礼儀 → 服装 → 効率) ⇒ すべてに安全が最優先

(富士清心園)

利用者一人ひとりの特性に応じ、利用者の立場になって考え、健康維持管理、医療に関する支援、療育支援、日中活動の支援等を提供し、生活環境の有効利用と維持に努めた。

1. 施設支援

- (1) 勤務体制
 - ・ 夜勤職員2名体制の継続
 - ・ 生活介護人員配置加算の取得（2.5：1）

※ 利用者の高齢化、重度化に対応するため、利用者2.5名に対し職員を1名配置し、緊急時にも速やかに対応できる体制を整えた。
- (2) 日中活動の取組み
 - ① 寮外活動グループ
 - ・ 園芸活動を通じ、作る喜び・食べる喜びを利用者に体験させることができた
 - ・ よもぎ活動は、静岡県畜産技術研究所の敷地にて6回収穫を行い、よもぎ入浴剤として朝霧高原道の駅にて販売し、収益で種苗、利用者おやつを購入した
 - ② 寮内活動グループ

通所利用者を中心に個別活動を行っている。主に高齢者・作業への参加が困難な利用者を対象に体力・健康維持・作業前訓練を目的とした。
- (3) 文化活動
 - ・ 茶 道 参加利用者の状況に合わせて楽しむ内容を重視
(年9回 講師：芹沢千代子氏・塩谷順子氏・江波戸芳子氏)
 - ・ 陶 芸 三園合同の活動に4名参加
(月1回 講師：小割祥嗣氏) 完成した共同作品は愛護ギャラリー展で発表

- ・ 書 道 職員が実施月によりテーマを提示し、利用者の感性にて自由に表現
(年12回) 作品は、食堂や廊下に掲示
 - ・ 音 楽 「今月の歌」を利用者と一緒に決めて、練習し、クリスマス会・納会で練習の
成果を発表 (年7回) 音楽発表が参加利用者の楽しみとなっている
 - ・ 絵画・貼り絵 愛護ギャラリーや福祉作品展での発表を目指して取り組み、クレヨン画
は額に飾り、寮内に掲示
- (4) 余暇活動
- ・ DVD観賞会
プロジェクターや2階談話室のテレビを活用して実施、寄附いただいたDVDの中から
利用者が興味のある映画やアニメを上映した
 - ・ カラオケ
歌うことが好きな利用者を対象に実施し、外出をしなくても利用者が寮内で楽しめるも
のとして取り入れ、利用者の楽しみとなっている
 - ・ 希望外出
利用者が希望する外出(ドライブ、買い物)を計画した

2. 健康管理

- (1) 感染症対策
- ・ 例年通り、11月にインフルエンザの予防接種を実施するが、12月14日に1名、1月28
日から2月6日に利用者28名、職員3名の感染
※1月28日からの感染拡大については、富士宮市・静岡県・保健所へ報告
 - ・ 産業医より予防薬(タミフル)を処方してもらい、法人内他施設協力のもと、重篤者を出
さずに終息することができた。今回の対応を再検討し、今後の感染拡大を防止するよう見直
しを行った

3. サービスの質の向上

- (1) 個別支援計画の作成、モニタリング、個別面談を通して支援内容の共有、改善を行った。
- (2) 支援員の専門知識や支援技術の向上を図るため、内部・外部を問わず各種研修への参加を
積極的に行った
- (3) 送迎専門職員を雇用し、通所利用者の安全な送迎を確保した

4. 施設設備整備

- (1) 理事長室上の居室(4部屋)の雨漏りを、設計士、施工業者と協議を行い天井裏の改修を
行う
- (2) 女子浴室内にあるトイレの扉の改修を行い、車いす利用者が使用しやすいよう改善した

5. 業務委託

シダックスフードサービス株式会社と食事サービスの業務委託契約を継続する。年2回会議を

設け情報の共有を行い、質の良い食事提供に努める。急な食事の変更にも対応してもらう

(富士明成園)

利用者に「安心と安全」を提供できるよう目指し、多様なニーズに対応し、生活や活動において一人ひとりに即した個別支援に取り組んだ。

1. 施設支援

(1) 勤務体制

① 入所施設

- ・ 遅番職員 2 名、夜勤職員 3 名体制で取組んできたが、起床後からの支援が重要となり、平成 31 年 1 月 24 日より早番を 1 名から 2 名に変更
- ・ 利用者の救急対応（救急搬送）が多く、その対応に苦慮する ⇒ 夜間の支援体制を強化
- ・ 通院件数の増加とてんかん・行動障害等により 1 : 1 の通院の必要性が高い
- ・ 入所利用者 定員 50 名のところ現員 46 名（4 月当初）
年度途中の入所により 1 名増員となったが、病死により 1 名亡くなり、現員 46 名となった為、利用者へのサービスの提供数の向上が課題

② 生活介護 人員配置 1.7 対 1 → 2.0 対 1

利用者 1.7 名に対して支援員を 1 名配置するも、職員の年度途中の退職により、2.0 : 1 の配置となった為、サービスの質の向上を目指し、人員確保が必要。

(2) 日中活動

① 療育グループ

重複障害・強度行動障害の利用者への体力づくり（歩行）、個別活動により、利用者が落ち着いて取組めるメニューを提供

② 生き生きグループ

身体麻痺のある利用者へのリハビリ支援（フジヤマ病院リハビリ科への定期評価通院と個別メニューでの支援）と高齢者中心に楽しめる体操、個別活動を実施

③ 自活グループ

自立生活が困難な利用者にビーズ、パズルなどの軽作業を実施。今年度、創作活動にて団子絵を作成

(3) その他活動

- ・ 陶芸活動 9 名参加（毎月第三木曜日 講師：小割祥嗣氏）
土に触れる楽しさと作品に仕上げる喜びを体感した
愛護ギャラリーへ共同作品「竹取物語」を出展
- ・ 音感療法 18 名参加（毎週火曜日 講師：梶田真弓氏）
コミュニケーションが難しい利用者の音楽的感覚を養った
みんなで歌おう会（月 1 回）には 20～30 名参加

- ・ 園芸活動 10名参加

プランターを利用して、季節の花の寄せ植え、チューリップの球根植え付けを行い、利用者同士が楽しく参加できる雰囲気作りを行った

2. 健康管理

- (1) 不調の訴えができない利用者が多くいる為、バイタルチェック（検温・血圧測定等）を行い普段と違う状況に気づいた場合は、医療機関への早期対応を行って状況確認を行った
- (2) インフルエンザ対策
 - ・ インフルエンザ予防接種を11月26日に実施したが、12月に利用者2名、1月に帰省中自宅にて利用者1名発症、感染症対策委員会にて対応状況を確認
 - ⇒ 衛生委員会にて、職員同意のもとタミフルの予防投与が承認された為、職員判断のもと対応

3. サービスの質の向上

- (1) 職員（資質向上委員会）による自己評価を実施
 - ・ 前期「マナー・虐待防止」、後期「業務内容について」アンケートを実施
- (2) 内部研修の実施
 - ・ 強度行動障害の支援のあり方について弘済学園の大永篤氏を招き午前講義、午後ケース検討を行った。（10月12日実施）
 - ・ 介護福祉士会より講師の派遣を依頼し実務研修を実施「食事介助」について講義を受ける（1月9日実施）
- (3) 外部研修への参加
 - ・ 強度行動障害者への支援に対する研修会等への参加
 - ・ 静岡県知的障害者福祉協会職員研修への参加
 - ・ 障害者虐待防止・権利擁護研修への参加

4. 施設設備整備

- (1) 施設本体の塗装工事を実施し、建物の維持強化、景観の美化に努める
- (2) 入所利用者の布団を50組購入し、衛生面を配慮した
- (3) 電動ベッド、車いす・ポータブルトイレ等必要な介護用品を購入、利用者生活の充実を図った

5. その他

平成31年3月17日、職員の不適切な行動により、利用者が怪我をする事故が発生

⇒ 富士宮市へ報告、平成31年3月25日担当者が来園、状況説明、現場確認を行う

⇒ 平成31年4月5日富士宮市へ必要書類（再発防止改善計画書等）を提出

- ・ 再発防止に向けて、緊急の法人全体研修会を設け、虐待防止法の理解と職員の意識を高め、再発防止に取り組んだ。

<第二種社会福祉事業>

障害福祉サービス事業

(サポートセンターあさひで)

利用者の「働きたい」という願いを一人ひとりに焦点を当てて、体験や経験の機会を提供する中で、関連機関と連携を図り安定した就労（一般就労・福祉的就労）の実現に取り組んだ。

1. 就労移行支援 定員 6 名

(1) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ 利用	127	130	125	131	132	121	111	106	115	102	104	122

- ・ 利用のべ人数 1,426 名
- ・ 収入額 合計 17,869,466 円

(2) 利用者の適性に合わせた個別支援計画を作成

- ① 利用者の基本的な適性を図る為に事業所内で下請作業を行い出勤状況、適性や課題の把握等基礎的な訓練を実施した上で、企業見学・職場実習を実施
- ② 一般就労の実現

(3) フォローアップの強化

仕事が終了した後や休日に来園してもらい、本人の状況把握や相談等を実施した

2. 就労継続支援 B 型 定員 14 名

(1) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ 利用	275	280	277	286	284	256	280	271	241	267	237	267

- ・ 利用のべ人数 3,221 名
- ・ 収入額 合計 20,647,903 円

(2) 安定した生産活動の機会を提供するため、施設外就労と下請作業の支援を実施

① 施設外就労

今年度も企業内での仕事の開拓と法人からの委託作業（清掃・環境整備等）の受注を並行して模索していきたい

② 下請け作業

法人からの受注（お茶のパック詰め）はあるが、下請け企業において今年度新規に 8 社

受注しているが、今後の継続が厳しい状況が予想される

→ 新規開拓と共に、それに対応する利用者の作業スキルの向上に努めていく

③ 自主生産

- ・ 自主製品作りとして蜜ろうを原料とした製品作りを試行し、来年度につなげていく
- ・ 定期古紙回収場所の拡充と新たに法人協力のもとアルミ缶の回収を開始し、平成 29 年度収入に比べ、収入が大幅にアップした

(3) 平成 30 年度 平均工賃月額 12,340 円

3. 就労状況

サービス区分	就職先及び採用日
就労移行	社会福祉法人富士宮福祉会 特別養護老人ホーム 星の郷 平成 30 年 4 月 1 日
	富士大洋株式会社 万野工場 平成 30 年 10 月 1 日
就労継続 B 型	社会福祉法人富士旭出学園 障害者支援施設富士厚生園 給食部 平成 30 年 9 月 1 日

4. 内職（施設外就労含）取引先

サービス区分	企業名	作業内容
下請作業	富士大洋株式会社	ダンボール折り、ビニールカット
	株式会社坪野谷紙業 富士工場	ポケットティッシュ 各種
	サヌキ印刷株式会社 静岡支店 富士工場	箱折り(お菓子、蒲鉾等)各種
	大協プラス株式会社	車部品(プラスチック製)バリ取り
	株式会社ミツワ	ポケットティッシュ
	渡邊商会	ボックスティッシュ
	社会福祉法人富士旭出学園	牛乳、お茶、ヨーグルト 配達
	株式会社フジマクロ	古紙・アルミ缶回収
	有限会社エフビー産業	エアコン部品
	株式会社 星翔	プラスチックリサイクル製品シールはがし
	富士宮通運株式会社	化粧品箱折り
	富士宮ターポリン鋳業所	緩衝材（紙）の折りと結束

	アイパックスイケタニ株式会社 西富士営業所	お菓子の箱折り
	アイパックスイケタニ株式会社 山宮営業所	車部品の緩衝材・古紙回収
	有限会キクスイ商事	ガスコンロ用のホイル
	有限会社フジ化学	雑誌の付録
	富士宮市 (選挙管理委員・健康増進課)	ポケットティッシュ 各種
施設外就労	株式会社日東プランニング ことばアカデミー	畑仕事、エゴマ、野菜
	長谷川農園	畑作業、野菜
	社会福祉法人富士旭出学園	換気扇、エアコン、プール清掃、環境整備
その他の収入	コカ・コーラボトラーズ ジャパン株式会社(セントラル)	法人内自動販売機
	社会福祉法人富士旭出学園	法人三人行事粗品等準備 (粗品・お菓子包装)

5. 関係機関との連携

ハローワーク・関係機関・企業等との連携に努め、特別支援学校や特別支援学級からの実習生を積極的に受入れ、卒業後の進路先としても受入れを行った

6. 地域との関わり

地域の福祉資源として捉え、利用方法等について検討し、事業所についての説明等は、随時対応し、事業所を理解してもらうように努めた

7. 防犯体制・防火体制の確立

- ① 総合警備保障(株)による防犯体制
- ② 防災倉庫内の備品・備蓄食品の補充

8. 個々の利用者ニーズに対応できる支援

(1) 文化活動(絵画・創作等)を実施

愛護ギャラリー、富士宮市福祉作品展、富士旭出学園作品展等へ出展

(2) 健康管理

- ① 感染症予防対策マニュアルに則った、手洗い・うがいの習慣を励行
- ② 歯科検診(在宅要介護者歯科保健の支援プログラム)

年2回(7月31日・2月1日)富士宮市保健センターにて実施

- ③ 希望者へのインフルエンザの予防接種を学園内で実施

9. 施設整備

- (1) 屋根の全面塗装工事を行い、維持強化と景観美化に努めた
- (2) LED 照明への交換工事を行い、作業場所・活動場所等の環境を改善

(共同生活援助事業所 サニーヒル)

一人ひとりが、自分らしく生きていくために、生活していく中での心配事や相談事に対し、バックアップ施設が対応し、安全で快適な生活がおくれるよう支援した。

1. 利用者の状況

- (1) あわくらホーム 定員：男性6名 現員：男性6名 11月に新規入居者1名
 - ・ 一般就労3名 福祉的就労2名 生活介護1名
- (2) 三園平ホーム 定員：女性5名 現員：女性4名
 - ・ 一般就労2名 福祉的就労1名

2. 支援の状況

(1) 生活支援員の配置

- ・生活支援員を配置することにより、日々利用者や世話人と対面することができ、問題の早期発見、早期解決ができた。また、生活支援員の勤務体制に、当直・早番・遅番を取入れることにより、夜間の利用者状況を把握し、個別支援計画に反映させることができた。

(2) あわくらホーム

- ・ 世話人 3名で交代勤務 6：30～9：00 15：30～19：00 (1日6時間の支援)

(3) 三園平ホーム

- ・ 世話人 2名で交代勤務 6：00～9：00 16：00～19：00 (1日6時間の支援)

(4) 共通の巡回

- ・ 毎日、富士厚生園・富士明成園・富士清心園の生活支援員が交代で巡回

(5) 利用者の健康に配慮

- ・ 朝・夕の食材を業務委託し、栄養管理に配慮、食事量の配慮を業者と調整を図りながら行い、食費に見合う食事内容を検討した

(6) その他

- ・ 非常食の補充を各ホームにて行った
- ・ 緊急時に備え、法人の連絡先等を各ホームに掲示
- ・ 災害時及び緊急時に備え、総合警備保障(株)と契約し対応
- ・ 各地域の防災訓練に参加

3. 施設整備

- (1) あわくらホーム
 - ・ 食事場所であった小上がりを撤去し、テーブルを設置する
 - ・ 玄関の湿度が高いため、除湿器を設置する
 - ・ 玄関の壁紙の張替
- (2) 三園平ホーム
 - ・ ガラス窓のガラス交換
 - ・ フェンスの交換（台風による）

(障害者短期入所事業)

居宅においてその介護を行う者の疾病、その他の理由により短期間入所を必要とする障害者に対し入浴、排泄、食事等の介護や日常生活上の支援を実施した。

1. 富士厚生園 定員5名

① 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ 利用	35	36	45	47	40	36	31	55	48	43	34	36

② 利用のべ人数 合計 486名

③ 収入額 市町 合計 3,139,671円 利用者 合計 327,138円

2. 富士清心園 定員3名

① 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ 利用	20	16	25	21	20	25	27	22	14	14	17	23

② 利用のべ人数 合計 244名

③ 収入額 市町 合計 1,439,353円 利用者 合計 155,872円

3. 富士明成園 定員6名

① 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ 利用	7	4	6	7	11	15	15	17	8	16	20	19

② 利用のべ人数 合計 145名

③ 収入額 市町 合計 1,433,800円 利用者 合計 113,942円

指定計画相談支援事業

(指定特定相談事業所 ふじあさひで)

1. サービス利用支援

- (1) 障害福祉サービスの申請に係る障害者の心身の状況、環境、サービス利用に関する意向その他の事情を勘案し、利用する障害福祉サービスの種類及び内容を記載した「サービス等利用計画(案)」を作成した。

→ 支給決定後に、支給決定に係るサービスの種類及び内容、担当者等を記載した「サービス等利用計画」を作成

(2) 計画作成実績

提供年月	支給市町村及び件数	計
平成30年 4月	富士市 1件 神奈川県葉山町 1件 東京都渋谷区 1件	3
5月	富士宮市 1件	1
6月	富士宮市 1件 沼津市 1件	2
7月	富士宮市 3件 小山町 1件	4
11月	富士市 2件 静岡市 1件	3
12月	富士宮市 3件	3
平成31年1月	富士宮市 1件	1
2月	宮崎県都城市 1件	1

提供件数合計 18件

2. 継続サービス利用支援

- (1) 支給決定の有効期間内において、当該者に係るサービス等利用計画が適当であるかどうか、指定された期間ごとに、「サービス等利用計画」の評価（モニタリング）を行った。

(2) モニタリング実績

提供年月	支給市町村及び件数	計
平成30年 4月	富士市 1件	1
6月	富士宮市 58件 伊東市 2件 牧之原市 1件	61
8月	三島市 1件 焼津市 1件 東京都杉並区 1件	3
9月	富士市 1件 東京都中野区 1件 東京都港区 1件	3
10月	静岡市 8件 神奈川県葉山町 1件	9
11月	沼津市 6件 神奈川県鎌倉市 2件 神奈川県小田原市 1件 神奈川県寒川町 1件 東京都板橋区 2件	12
12月	富士宮市 2件	2
平成31年 1月	神奈川県横浜市青葉区 1件 東京都世田谷区 1件	2
2月	伊豆市 2件	2
3月	富士市 14件 山梨県富士河口湖町 1件 東京都品川区 1件 東京都渋谷区 1件 東京都杉並区 1件 東京都練馬区 2件	20

提供件数合計 115件

<公益事業>

地域生活支援事業

(日中一時支援事業)

日中における活動の場を確保し障害児(者)の家族の就労支援並びに一時的な休息を目的として支援を実施した。

1. 富士厚生園 定員3名

① 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ 利用	46	48	55	62	51	43	57	42	32	41	40	43

② 利用のべ人数 合計 560名

③ 収入額 市町 合計 2,246,400円 利用者 合計 100,440円

2. 富士清心園 定員3名

① 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ 利用	44	39	41	49	31	37	33	37	29	36	21	32

② 利用のべ人数 合計 429名

③ 収入額 市町 合計 1,933,200円 利用者 合計 133,920円

3. 富士明成園 定員6名

① 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ 利用	6	8	5	6	7	8	6	6	4	5	9	9

② 利用のべ人数 合計 79名

③ 収入額 市町 合計 540,000円 利用者 合計 42,660円

4. サポートセンターあさひで 定員5名

① 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ 利用	62	66	64	70	66	64	73	75	72	68	75	78

② 利用のべ人数 合計 833名

③ 収入額 市町 合計 1,594,800円 利用者 合計 0円